

回答
ANSWER

質問
QUESTION



おおひら ふみお
大平 文雄

堀町長の3期目に向けての意欲は

町民からの信託があれ
ば、引き続き担になわせて
いただきたい
〔町長〕

質問

平成27年4月、8年間に及ぶ「安八町第五次総合計画」が策定されました。くしくも堀町政は、ほぼ同時期に2期目がスタートし、平成31年3月で前期4年間が終了しようとしています。その間、大手企業の撤退により疲弊した町財政の立て直し、子どもからお年寄りに至る

まで住みよいまちづくりにまい進されてきました。

第一に、平成30年3月24日安八スマートICの供用開始を起爆剤として、我が町の安定した財政基盤の構築に向けて、現在着々と準備が進められています。

引き続き第五次総合計画の後期には、明るい未来に向けた成果が生まれようとしています。

第二に、水道事務所ならびに配水池の改築です。平成29年に着工し、水道事業というライフラインの整備は将来予測される大地震に備えた喫緊の課題になっています。

第三に、保育園の認定こども園への移行です。平成31年4月より、現在6保育園すべてが認定こども園化され、従来の保護者の方々からの要望に応えること

ができます。ただし、近い将来6つのこども園は、行政施設のスリム化・効率化を目的として統合は避けて通れない課題です。

堀町政における2期目の実績は、現在継続中の案件も含め、多大な成果を収められようとしています。しかしながら、安八町には今後も引き続き取り組んでいかななくてはならない案件が山積しています。

第五次総合計画の後期4年間も引き続き町政に身を置き、粉骨砕身安八町のかじ取りをしていただく責務があると思えます。

回答

現在、安八町は成長への礎となる極めて重要な時期を迎えています。広く、町民の皆さまから信託

いただけるのならば、さらなる高みを目指し、全身全霊を懸けて、引き続きまちづくりを担わせていただきたいと考えています。

平成30年3月24日に町内を通る名神高速道路に安八スマートICが完成、供用開始となりました。長い年月と経費はかかりましたが、豊かな基盤を再び築き上げるための「夢への懸け橋」を手にすることができました。

再びまちづくりを担わせていただくことができましたならば、安八スマートIC周辺の市街化拡大、企業誘致、水道事業などライフラインの整備、強化、認定こども園の統合などを進め、第五次総合計画の基本理念として掲げる「社会経済情勢に左右されない、落ち着いたスリムで足腰の強い



水道配水場施設内部の工事状況

まちづくり」をしたいと思います。苦しい時代のかじ取りと覚悟してこの職に就いて約8年、安八町にとつても、今がまさに正念場です。全身全霊を懸けてまちづくりを担い、先人が築いてこられた豊かな町を若者や子どもたちにつないでいきたいと考えています。